

ピア・カウンセリングについての報告 X II

台東区精神障害者地域生活支援センター「あさがお」 ピア・カウンセラー 小和瀬 芳郎

年度	件数 (人数)	1日平均
平成17年度 (H17. 5 ~ H18. 3)	25件	2.27件
平成18年度 (H18. 4 ~ H19. 3)	35件	2.92件
平成19年度 (H19. 4 ~ H20. 3)	31件	2.58件
平成20年度 (H20. 4 ~ H21. 3)	20件	1.67件
平成21年度 (H21. 4 ~ H22. 3)	47件	3.92件
平成22年度 (H22. 4 ~ H23. 3)	38件	3.17件
平成23年度 (H23. 4 ~ H24. 3)	42件	3.50件
平成24年度 (H24. 4 ~ H25. 3)	49件	4.08件

平成25年度 (H25. 4 ~ H26. 3) 28件 2.33件

4月 3人 5月 2人 6月(強風) 2人 7月 2人
 8月 1人 9月(チェリーでオープンハウス) 0人 10月(気圧の急変) 4人
 11月 3人 12月 1人 1月(厳寒・小雪) 5人 2月 2人 3月 1人

【利用者数が激減】

利用者数は、あさがおの来所者数に相変わらず左右され、季節変動には影響があるが気象変動には影響ないと思われる。また、ピアカンの時間帯のみのフリースペースでの、なかば強引とも言えるピアカン利用の勧誘は効果があったのかどうか。

【ピアカン、通算100回を越える】

体調が悪かったときもあったものの、開始から休まないで、9月で通算100回の連続実施を超えた。

【ピア・カウンセリングのご案内・第11版も御覧ください】

平成26年4月に、「ワンウェイ型」と明記し、ピアカンのデータやピア・カウンセラーの略歴などを改訂し、「ピアカンの要素」にリフレーミング(置き換え)を加えた。⇒ 次頁参照

【文京区の障害者地域自立支援協議会の当事者部会で、ピアカンがテーマになる】

昨年度、三障害統合の文京区の障害者地域自立支援協議会の当事者部会委員になり、相談支援専門部会からのテーマにピアカンがあり、ワンウェイ型のピアカンを説明したのち、さらに相談支援専門部会に出席し報告した。

【ピアカンの利用者開拓・増加と普及を求め、模索】

普段は登録利用者である『個』の自分を優先して、ピア・カウンセリングを大事にするためにも、あさがおへの通所を出来るだけ少なくしていた私であった。しかし、利用件数の減少が続き、利用者開拓・増加と普及を求めて、水曜日以外のメンバーが多く集まるプログラムに参加したり、あさがおへ来所してフリースペースにいて、ピアカンの宣伝をしたりピアカンを話題にするなどもした。

ピアカンのイメージが多くのメンバーに定着していないことや、ピアカンの説明が第3水曜日にしかしていないほか、ピアカウンセラーが1名しかいないことや、ピアカンが第3水曜日しか実施していないことなど、限界はある。